

講義名	経済史		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	都築 晶		
開講期・曜日・時限	前期 水曜日 2時限	授業形態	
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

この授業では、およそ18世紀から現代までの世界経済の大きな流れを押さえながら、工業化と経済成長の内容と意義について考える。その際には、以下の点に留意する。すなわち、まずイギリスで産業革命が起こり、経済成長を実現したこと、その工業化の波が日本をはじめとする各地に広がっていったこと、各地で工業化の進展過程とその帰結については相違があり、華々しい成長の背後では多くの矛盾や問題が生じていたことである。

到達目標

この授業の到達目標は以下の通りである。①世界経済の大きな流れをつかむ、②18世紀のイギリスの産業革命の内容と意義を理解する、③19世紀以降の工業化の進展と経済成長について理解する、④工業化と経済成長の現代的意義を考えるにあたり、以上の歴史認識がどのような示唆を与えるか、自分なりに考えてみる。

提出課題

中間レポートを課す場合がある。レポート提出を課す場合は授業内で内容を指定する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

レポートを課した場合、受け取り1ヶ月後頃に全体的な出来に対しての講評を行う予定であり。

評価の基準

中間レポートを実施した場合、レポート20%、期末試験80%で評価する。
中間レポートを実施しなかった場合、期末試験100%で評価する。

履修にあたっての注意・助言他

授業中の私語、飲食厳禁。

教科書
. 使用しない。

プリント資料及び参考文献

。 回目を除き、授業ごとに資料をネットにアップロードする予定。
。 受講に際して、各自ダウンロード、印刷するように。
。 教科書は指定しないが、参考文献は適宜授業内で紹介する。

授業計画

第1回：工業化とは何か
第2回：工業化の発展段階
第3回：工業化の種類
第4回：工業化の担い手（1）：企業
第5回：工業化の担い手（2）：企業家
第6回：企業家の類型
第7回：産業革命の起源
第8回：世界資本主義の形成（1）：綿工業製品
第9回：世界資本主義の形成（2）：鉄工業製品
第10回：世界資本主義の形成（3）：資本輸出
第11回：生活水準の変化
第12回：労働問題の発生
第13回：環境問題の発生
第14回：地域格差の問題
第15回：現代の諸問題を考える

授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
ウ：ディスカッション、ディベート	
エ：グループワーク	
オ：プレゼンテーション	
カ：実習、フィールドワーク	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

日々新聞・ニュースなどを見て、今起こっている問題に興味を持つこと。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考